

議会傍聴の感想

9月定例会の傍聴にいらした方にアンケートのご協力をお願いしました。多数のご意見をいただきましたので、今回はその一部を紹介します。

- ・議員、村職員ともに村を思って頑張っているのがわかります。これからも村のために頑張ってください。
- ・議員の方々がよく勉強されていることがよくわかりました。ぜひ、予算を有効に使って実現していただきたいと思います。
- ・議員の方が質問することへの準備、苦勞、勉強していることがわかりました。回答は、もう少し要領を得ての対応があってもいいのでは。数字の比較はパネル等用いての説明、工夫はできないか。
- ・各議員の質問に対する村側の答弁が細部にわたり説明されていて良かった。答弁どおりの業務執行をしていただきたい。
- ・各議員の質問が我々に身近な事項であり、理解しやすかった。教育、子育て、税金、国保、農業等多岐にわたり質問されていたが、一問一答方式ということで、わかりやすい議会傍聴でした。
- ・村のあり方等少しわかったような気がします。一個人の困りごとに対処してくれるということもわかりましたが、自分の思っているようには相手は動かないことも。個人の身になり、これからも住みよい村づくりをお願いします。
- ・初めて傍聴しましたが、質疑応答とはこんなに大変なものなのかと非常に驚きました。同じようなことをしつこく何度も質問するんだと思い、なんと大変なことなのかと非常に驚きました。
- ・質問者も答弁する方も、名前を呼ばれたら「はい」と返事をした方がいいと思います。
- ・村民の幸せを考えて、表面的な答弁ではなく、しっかりと何事にも取り組んでいてもらいたい。行政はもう少し頭を柔らかく、法に基づくことはわかっていますが、柔軟性をもって取り組んでいてもらいたい。
- ・同一質問の調整が必要ではないか。限られた時間を有効に。
- ・一問一答方式になったので、時間短縮のため、質問者同様、答弁者も隣の席にいて答弁した方がよいと思います。
- ・以前と違い、一問一答方式となり、とても聞きやすくなった。議員によって私たちのために質問をしているのはわかりませんが、少ししつこくてイヤになってしまいました。